

鋼トラス橋格点カバー工法

トラス格点部への劣化因子の侵入を防護する。

この工法は、あらかじめ鋼トラス橋の格点部を覆うことで腐食要因の侵入を防止し、劣化の進行を遅らせる工法である。したがって、予防保全としての効果が期待でき、維持管理費の縮減が図られる。



トラス格点カバー

施工工程

格点の計測



カバーを設置する鋼トラス橋の格点の形状を測定する。

各部材の製作・組立て



計測した寸法を図面化し、鋼トラス橋格点カバーの取付け金具の製作及び、カバー材であるポリカーボネート板の加工を工場で行う。

カバーの設置



あらかじめ、工場で作成・組立したカバーは、現場で取付を行う。

■ 施工例 / 鋼トラス橋に施工したトラスカバー工法 (平成23年3月)

着手前



中津川市内国道19号 鋼トラス橋(上落式)側面



中津川市内国道19号 鋼トラス橋路面部

完了



桁端部のカバー施工



中央部のカバー施工

完了後の湿度の計測



5ヶ月後のカバー外側の計測 外気温31.6℃ 湿度62.5%



5ヶ月後のカバー内側の計測 内気温31.4℃ 内部湿度61.3%

鋼トラス橋格点カバー工法の特徴

- ①トラスのカバーは、国土交通省や道路公団など、透過性遮音壁としても実績があるポリカーボネートを使用しているため、耐久性に富み、耐衝撃性・耐熱性に優れている。
- ②トラスカバーは、透過度(全光線透過率80~95%≒ガラス*)が高く、外側から内部が明視でき、点検が容易である。
- ③カバー上面は、傾斜が施されており、塵や埃が表面に付着した場合、降雨時に容易に流れる構造となっている。
- ④カバーは、格点内が出来るだけ湿潤しないように、通気性を高める様な構造となっている。

*透過率数字は、日本プラスチック協会の資料を基にした。



トラス格点カバー設置